

## 令和元年度（2019年度）日本音楽教育学会 関東地区例会のご案内

令和元年度の関東地区例会を下記の要領で開催いたします。年度末のお忙しい時期と存じますが、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

### 記

日時：令和2年（2020年）3月20日（春分の日） 12:30～16:30

会場：聖心女子大学 2号館4階41番教室（ワークショップルーム）／3号館4階342番教室  
（東京都渋谷区広尾 4-3-1）

参加費：無料

\*申し込み方法につきましては、往復はがきにてご案内します。

### 第Ⅰ部 博士論文・修士論文 ポスター発表（12:30～14:00）

会場：2号館4階41番教室（ワークショップルーム）

関東地区院生会員の博士論文・修士論文の発表を予定しています。発表者との有意義な研究交流の場となりますようご参加をお待ちしています。

### 第Ⅱ部 シンポジウム（14:15～16:30）

会場：3号館4階342番教室

テーマ：音楽を通して多様な子どもたちをつなぐ—学校と社会における多文化共生をめざして—  
（趣旨）

2019年4月に改正出入国管理法が施行され、教育現場ではこれからますます「外国につながるの児童・生徒」が増えていく状況にあります。この現状に対して、「多様な子どもたちをどうつなぐか」という課題に様々な立場から取り組んでいかなければなりません。学校や地域で多文化共生の施策が進められる中、音楽が果たす役割について必ずしも共通認識されているとは言えません。

本シンポジウムではお二人のパネリストからお話を伺いながら、課題に対する認識を深め、音楽を通して教育現場で何ができるかを、皆さんと一っしょに考えていきたいと思っております。

#### パネリスト

##### 鈴木恵梨香氏（浜松国際交流協会）

静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科修了（専攻は多文化共生、アートマネジメント）後、2013年より公益財団法人浜松国際交流協会職員。担当事業は、国際交流・国際理解イベント・講座・セミナー企画、多様性を生かしたまちづくり事業。論文に「浜松における音楽を通じた多文化共生教育のあり方」（『文化政策研究』第7号、2013）、共著に「外国にルーツを持つ若者たちが社会を変える」（『部落解放』748号、2017）。日本文化政策学会会員、日本アートマネジメント学会会員。

##### 磯田三津子氏（埼玉大学）

埼玉大学教育学部准教授。博士（教育学）。専門は教育方法学、在日外国人児童生徒教育、多文化教育。著書に、『グローバル時代の国際理解教育』（共著、明石書店、2010）、『音楽教育と多文化主義』（三学出版、2010）など。日本音楽教育学会会員。

コーディネーター・司会 中嶋俊夫（横浜国立大学）

関東地区担当理事

横浜国立大学 中嶋俊夫 nakajima-toshio-cy@ynu.ac.jp

明星大学 阪井 恵 megumi.sakai@meisei-u.ac.jp

## 会場へのアクセス

### ■東京メトロ日比谷線「広尾駅」下車

2番「天現寺橋(聖心女子大学)方面」出口から広尾商店街(散歩通り)を通り 約3分(⇒南門へ)

### ■JR 渋谷駅東口または恵比寿駅より都バス

「日赤医療センター前」行 終点「日赤医療センター前」下車 約3分 (⇒正門へ)

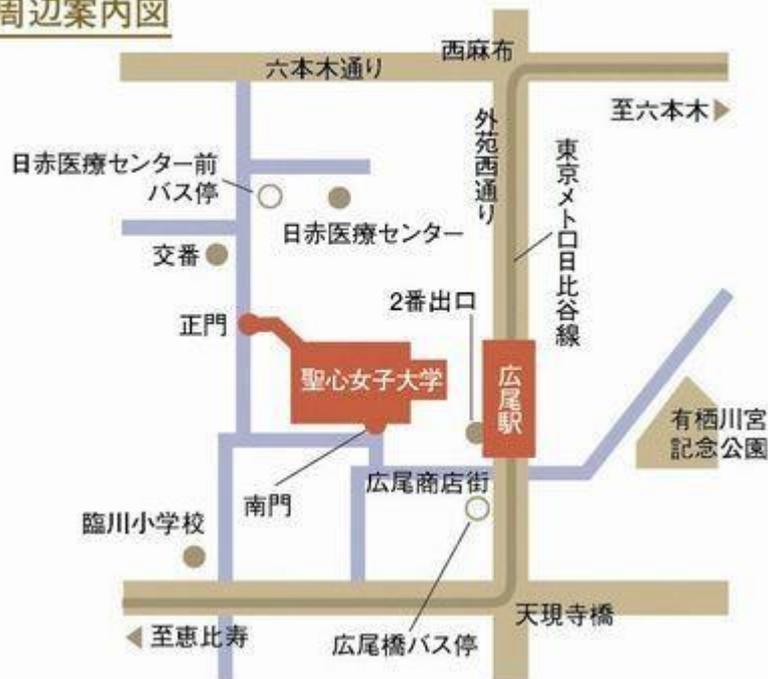
■JR 品川駅より都バス「新宿駅西口」行「広尾橋」下車 約4分(⇒南門へ)

■JR 目黒駅より都バス「千駄ヶ谷駅」、「新橋駅」行「広尾橋」下車 約4分(⇒南門へ)

【ご注意ください】

バリアフリーでの入構をご希望の場合は、『正門』をご利用いただくか、『南門』からエレベーターをお使いください。

## 周辺案内図



## 聖心女子大学構内図

